



ChigasakimateS

2009. 10. 1

茅ヶ崎方式英語会 協力校通信 第48号

有限会社 茅ヶ崎方式英語会 102-0073 東京都千代田区九段北1-6-6 カサイビル I
Tel/Fax 03-3288-2770 <http://www.chigasakieigo.com/> e-mail: info@chigasakieigo.com

茅ヶ崎方式は来年で30年

有限会社茅ヶ崎方式英語会代表 大美賀廣芳

来年は茅ヶ崎方式創設30年目の記念すべき年になります。

1981年4月18日(土)、茅ヶ崎自由大学英語初級コースに最初に集まった茅ヶ崎市民は11名でした。今日、2009年9月26日(土)、全国155の協力校において、およそ4000名の学習者が茅ヶ崎方式で学習されています。

このように、着実な発展を遂げてまいりましたのも、茅ヶ崎方式の創始者、教材ライター、協力校の皆様のお陰と改めて感謝する次第です。

草創期、創始者達が唱えていた「ヒアリングでなくリスニングを」、「英会話ではなく内容のあるコミュニケーションの英語を」、「言葉の習得はひたすら自分の努力」等々の斬新な英語学習に対する考え方は、何年も前から当然の学習スタンスになっておりますが、この30年の間、茅ヶ崎方式が変わらず守り続けてきたものです。

そして、今後も、「聴き取れなければ話せない」という草創期からのキャッチコピーと共に、変わることなく茅ヶ崎方式の普及に邁進してまいりたいと思います。

継続は力です。この30年間で、茅ヶ崎方式英語学習法の素晴らしさは多くの方に知られるところとなりました。しかし、まだまだ知名度は低いと言わざるを得ません。

温故知新、30年記念事業を切欠として、更なる飛躍を期するものです。

来年4月7日(水)に発祥の地茅ヶ崎市の市民文化会館で下記の記念講演会を開催する予定です。ここにお知らせすると共に、全国の茅ヶ崎方式シンパの皆さんのご協力・ご参加をお願いする次第です。

題名：英語力(えいごちから)養成セミナー

「聴き取れなければ話せない 茅ヶ崎方式30年特別記念事業」(仮題)

開催日：2010年4月7日(水)

会場：茅ヶ崎市民文化会館(小ホール、2,3,4,5会議室)

講演会：

茅ヶ崎方式30年(仮) 松山 薫先生(茅ヶ崎方式英語会創始者)

英語の楽しみ方(仮) 田崎清忠先生(横浜国立大学名誉教授、前東京純心女子大学学長
元NHKテレビ英語会話講師)

英語教育ではなぜ同じ問題が繰り返されるのか(仮)

浅野博先生(筑波大学名誉教授)

自律的学習の8原則について(仮)

土屋澄男先生(元文教大学教授)

展示：茅ヶ崎方式30年の歩み

協力校Event：各種計画中

Book-0後編 いよいよ発売!

待望の「英語教本Book-0」(ZERO からスタート再学習の英語)後編は、いよいよ10月より、書店にて発売されます。

前編同様、誰でも知っている内外の人物20人を、簡潔な英語で紹介しています。

「Book-0」は入門者・再学習者用の教本ですが、中級・上級者にも興味ぶかい内容となっております。前編に引き続き、茅ヶ崎方式創始者・松山薫が監修しております。(Chigasakimates 09年7月1日号では松山薫の後編発行に際してのご挨拶を掲載しております。改めてお読みいただくと幸いです。)前編とともに、学習者・講師の方々へお勧めします。

Book-0 後編 の登場人物

与謝野 晶子
植村 直己
古今亭 志ん生
杉原 千畝
マハトマ・ガンジー
澤田 教一
前畑 秀子
北里 柴三郎
ヘレン・ケラー
嘉納 治五郎
マリア・カラス
大宅 壮一
ビル・ゲイツ
安藤 百福
岩城 宏之
津田 梅子
吉岡 弥生
E・ライシャワー
新渡戸 稲造
キング牧師

Book-0は書店で購入いただけます。
お近くの書店にお問い合わせください。

☆C-Oクラスは、Book-0を基本教本に使用します。

あなたの教室で、「Book-0」を基本教本に使用する「C-Oコース」に参加なさいませんか？ C1コース・C2コースの前に、又はこれらコースと平行してC-Oで学習することで、英語そのものがより一層身近になるのではないのでしょうか。毎回、学習会ごとに、別の人物をテーマにリスニングしてゆきます。リスニングとともに、EXERCISEなど、充実したクラス用教材が用意されております。

～ 協力校便り ～

今回は前号紙面の都合で掲載できなかった那覇校と浜松校の会員さんからのお便りを紹介いたします。

那覇校代表 戒能 通智

お二人の生徒の方より那覇校の授業の感想を寄せて頂きました。大慈彌さんは、3年間通って頂いている、琉球大学理学部大学院博士課程の学生さんです。屋我さんは、アメリカ基地内で働かれています。

那覇校 C2会員 大慈彌 みち子

沖縄らしく、和やかにゆったりと笑いの絶えない雰囲気の中は進みます。しかし、和やかだからといって易しいわけではなく、あやふやな“？”は、確実な“？”になるまでボブ先生から質問されます。しかし、それは厳しいというより言葉に厳格なのであって、確実な“？”から確実な“！”になったものは頭の中に残ります。生徒からの質問もしやすく、さらに、いつも“大丈夫？分からないとこない？”と聞いて下さり、分からないままクラスが終わる事はありません。ネイティブスピーカーのボブ先生だからこそ分かるその英語のニュアンス、単語の語源、派生語、類語等々、一つの単語から話が尽きる事はありません。

那覇校 C1, C2会員 屋我 雅代

英語嫌いの私から、英語を学びたいという好奇心を与えてくれたのが茅ヶ崎方式の先生方です。

「あの娘は、英語がしゃべれない！」の著者フジテレビアナウンサーの安藤 優子さんの著書を読んで、私の英語力の方が劣っていると感じたことを覚えています。”話せない”、“聞けない”、“書けない”、“読めない” 四拍子揃った状態で実に不愉快なものでした。何かに向かって努力する人は、この世の中に当たり前のように溢れていますが、英語に携わる職業に就いている 私にとって、英語は、ストレス窮まりないもののため、苦手意識が倍増し、どんな英語講座を受けても脱力感から、解放されず、自分自身と葛藤している最中、茅ヶ崎方式に出会いました。

とりあえず、やってみようという安易な気持ちで始めて半年、どこから手をつけていいのかわからない状態から、茅ヶ崎方式の教材を読む事で、その文章、単語のイメージが浮かび上がり、決して楽ではありませんが、努力した分だけ能率よく確実に力がついているような気がします。 文と文との関係をわかりやすく先生が説明して下さるので、その背景を理解するようになったような気がします。それに同じ単語が出てくるので、単語力を伸ばすのに役立っています。

“私なんてどうせ駄目だ”と萎縮して前向きに取り組む事が出来なかった私を励まし、勇気づけ、希望を見出してくれる先生のお蔭で自分の可能性を信じ楽しみが増えました。この感覚は、喜び以外の何ものでもありません。将来、同僚のアメリカ人に対し、率直な自分の意見、会話に奥行きがでるように心機一転、更なる英語力向上を目指して努力していこうと思います。

那覇校の教室風景



~~~~ ♪ ~~~~ ~~~~ ♪ ~~~~ ~~~~ ♪ ~~~~

～ イベント便り ～

### 英語グルメツアー

浜松校 C3 会員 中村良二

茅ヶ崎方式浜松校は、着々準備を進めてきた春のイベント「英語グルメツアー」を5月24日に開催しました。幹事役はご当地の地理とお酒に滅法くわしいC3の大石さんが担当。県東部の三島大社や名勝柿田川湧水公園などを巡る英語と日本語の **bilingual tour** です。参加者は浜松校の会員とその家族・友人たち、さらに外国人講師も加わってなんと34名の大盛況。

貸し切りバスが一路東名高速道路を東進する中、通訳ガイドの資格を持つ浜松校代表の松島先生のユーモアたっぷりの英語の道中案内に一同の笑顔がこぼれます。また名所旧跡にさしかかると会員が交替でその土地の歴史や逸話の紹介に挑戦。静岡付近ではご当地ソングの草分け「茶切り節」の歌唱指導もありました（さすがにこれは日本語）。昼食は沼津海産物センターで海鮮グルメ料理に舌鼓。

さて、今回のツアーのハイライトはアメリカ人オーナーが経営するビール工場の見学と地ビールの試飲でした。オハイオ州出身のブライアン・ベアードさんは沼津市内で地ビール醸造所を営みその名も **Baird Brewery**。工場見学に先立ってベアードさんが慣れない土地で裸一貫から始めた手づくりビールづくりの苦心談に一同は時間の経つのも忘れて耳を傾けました（普段鍛えたりスニング力をここぞと試しました?）。その後はビアパブ「タップルーム」に移動して、ご自慢のベアードビールの芳醇な味を心ゆくまで楽しみました。

帰路の車中はビールを飲みながらビンゴゲームに興じ、沼津特産の新鮮なアジの干物をお土産に楽しい英語グルメツアーの一日を終えました。

あとがき：みなさんの協力校でも浜松校のように何か楽しいイベントはありましたか。「英語グルメツアー」、私も是非参加したかったです。協力校からのお便りお待ちしております。